

除雪車輛を計画的に更新してまいります。

●橋梁維持につきましては、第1農道橋外2橋の修繕工事を予定しており、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の延命化を図るため、計画的に修繕事業を行い、安全性の確保に努めてまいります。

●河川事業につきましては、樹木の伐木を2河川実施し、引き続き浸水対策の強化に努めてまいります。

●町営住宅などの整備につきましては、公営住宅等長寿命化計画に基づき、引き続き第2旭団地2棟4戸の建替を実施するほか、屋根塗装など老朽箇所の修繕を実施してまいります。

●下水道事業につきましては、老朽化した施設を最適化するため、ストックマネジメント実施計画に基づき、小平浄化センターの機械・電気設備及び腐食したマンホールの更新工事のほか、腐食の恐れのある管路の点検を実施してまいります。

下水道区域外の地域におきましては、合併浄化槽設置整備事業補助制度を活用し、生活環境の向上を図ってまいります。

●水道事業につきましては、国道232号小平防災事業に伴う花岡、大椋間の水道管の移設工事のほか、老朽化した鬼鹿高台ポンプ室の機械・電気設備の更新工事を実施してまいります。

また、適正な施設管理のもと、安全

で安定的な水道水の供給が確保されるよう努めてまいります。

●交通安全対策についてであります。悲惨な交通事故の撲滅に向け、交通安全指導員の皆様や関係機関・団体と密接な連携を持ちながら、町民一人ひとりが「事故に遭わない・事故を起こさない」との基本認識のもと、家庭・職場・地域が一丸となった交通安全運動を一層強化してまいります。

●防犯対策につきましては、これまで主に高齢者を狙った特殊詐欺が問題となってきましたが、近年は「トクリュウ」と呼ばれる、匿名・流動的犯罪グループによる、地域や世代を問わない、より凶悪な犯罪が多発しており、極めて憂慮すべき状況にあると認識しております。

今後も連合町内会や防犯協会・警察などと連携し、見回りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、町民の皆さまが安心して生活できるまちづくりに努めてまいります。

●消防体制につきましては、新小平消防署庁舎の建設に向けて、引き続き、準備を進めてまいります。

また、小平消防署に配備している大型水槽車を更新するとともに、消防職員の専門性の強化と団員の確保及び活動力の向上を図り、より一層、対応力強化に努めてまいります。

●交通の確保につきましては、住民生活に重要な役割を担っている路線バス

の運行を維持するため、事業者への支援に努めるとともに、バスを利用して通学する高校生に対し、定期運賃の一部助成を継続してまいります。

また、引き続き「群来る」ライドシェアを運行し、交通空白地域の解消を図るとともに、持続可能な地域公共交通の体系づくりに努めてまいります。

●防災減災対策につきましては、全国各地において異常気象による自然災害が頻発するなど、今後もあらゆる災害の発生が懸念され、地域全体の防災意識と日頃の備えが重要であると考えております。

地域防災力を高めるために、引き続き「自助、共助、公助」の意識向上に努めるとともに、「B&G防災拠点のまち」としても、「町民、地域、行政」が一体となって災害に強いまちを目指してまいります。

また、防災情報の伝達手段として、スマートフォンアプリの活用や戸別受信機の導入について検討を進めてまいります。

●国道・道道の整備につきましては、道路改良や適正な維持管理をはじめ、国土強靭化実施中期計画による、切れ目のない強靭化対策に向けて、関係機関に要望してまいります。

国道におきましては、越波・土砂災害などの対策として、花岡、大椋間3・7km区間の道路の高上げ工事である国道232号小平防災の着実な実施に向

けて、引き続き要望してまいります。

道道におきましては、苫前小平線の事業化実現に向けた、整備促進期成会による要望活動を継続実施してまいります。

●移住・定住対策につきましては、移住体験用住宅「ちよい蔵」を活用し、お試し移住の受入れを積極的に実施するとともに、中部圏での移住フェアに参加し、本町の魅力発信に取り組んでまいります。

また、地域力の維持・強化を図るため、地域おこし協力隊員を積極的に投入し、定住・定着を図ってまいります。

福祉施策

●全国的に進む少子化や共働き家庭の増加、子育て家庭の孤立化など子どもや家庭を取り巻く環境の変化に対応するため、子どもの健やかな成長と子育てについては社会全体で支援していくことが必要とされています。

子育てを地域で支え、子どもの成長を育む環境づくりを包括的に進めるため、「子育て世代包括支援センター」を中心に、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを推進しているところであります。

引き続き「第3期小平町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもへの経済的支援、母子保健事業、地域